

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第65期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	仙波糖化工業株式会社
【英訳名】	Semba Tohka Industries Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀川 駿太郎
【本店の所在の場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 芝山 哲
【最寄りの連絡場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 芝山 哲
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期 前第2四半期 連結累計期間	第65期 当第2四半期 連結累計期間	第64期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	7,884,095	7,165,395	15,609,232
経常利益(千円)	292,456	205,306	581,493
四半期(当期)純利益(千円)	113,463	55,222	292,997
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	11,603	104,806	186,434
純資産額(千円)	6,529,063	6,717,615	6,703,882
総資産額(千円)	13,989,192	14,082,881	13,854,923
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	9.97	4.85	25.74
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	46.7	47.7	48.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	398,189	476,118	1,395,741
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	56,244	870,897	490,571
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	464,000	99,105	682,124
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,991,714	2,040,402	2,336,154

回次	第64期 前第2四半期 連結会計期間	第65期 当第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	4.68	2.68

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第64期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残るなか、企業の生産活動や個人消費などに回復の兆しが見られるものの、電力供給の制約や欧州の金融不安を背景とする円高進行もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、東日本大震災に伴う原発問題によって、中国による日本からの食品の輸入禁止や風評被害が多発し、消費者の食の安全に関する意識がより一層高まり、当社グループを取り巻く経営環境は極めて厳しい状況となっております。

このような状況下、当社グループは、国内・国外の食品市場において、消費者ニーズにマッチした商品群開発の目標を明確にし、生産・販売・開発・管理の各部門ともにグループ一丸となって力を注いでまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は71億65百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

製品の種別別売上高では、キャラメル製品は、デザート関連製品が増加したものの、調味料及び飲料向け製品が減少し、14億76百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。粉末製品は、粉末茶及び飲料、即席食品向け製品が増加し、17億29百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。凍結乾燥製品は、具材製品及び粉末山芋が減少し、2億62百万円（前年同四半期比4.2%減）となりました。造粒製品は、お客様ブランドのヘルスケア関連製品が大きく減少し、11億89百万円（前年同四半期比52.6%減）となりました。ブレンド製品は、和風だしパック品と小麦粉ミックス品が引き続き好調に推移し、7億47百万円（前年同四半期比52.9%増）となりました。その他製品・商品は、即席加工食品向け具材と国内産冷凍山芋、冷凍和菓子が好調に推移しており、17億60百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は2億11百万円（前年同四半期比32.5%減）、経常利益は2億5百万円（前年同四半期比29.8%減）、四半期純利益は、真岡第三工場の粉末製品製造設備の更新に伴う固定資産除却損等として89百万円を計上しました結果、55百万円（前年同四半期比51.3%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2億95百万円減少し、20億40百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億76百万円（前年同四半期は3億98百万円の獲得）となりました。

これは、減価償却費3億59百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8億70百万円（前年同四半期は56百万円の使用）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出7億27百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は99百万円（前年同四半期は4億64百万円の使用）となりました。

これは、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出2億91百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億48百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,400,000	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,400,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	11,400	-	1,500,500	-	1,194,199

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東洋水産株式会社	東京都港区港南2-13-40	2,005	17.58
SENBA Foods 株式 会社	東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田ビル	1,383	12.13
ユタカフーズ株式会社	愛知県知多郡武豊町字川脇34-1	1,000	8.77
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	558	4.90
株式会社常陽銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会 社)	茨城県水戸市南町2-5-5 (東京都港区浜松町2-11-3)	542	4.75
仙波糖化工業従業員持株会	栃木県真岡市並木町2-1-10	348	3.05
魚住昭義	栃木県真岡市並木町	238	2.09
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	214	1.87
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都千代田区内幸町1-1-5 (東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタ ワーZ棟)	182	1.60
理研ビタミン株式会社	東京都千代田区三崎町2-9-18	150	1.31
計	-	6,622	58.09

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 15,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,379,700	113,797	-
単元未満株式	普通株式 4,500	-	-
発行済株式総数	11,400,000	-	-
総株主の議決権	-	113,797	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
仙波糖化工業(株)	栃木県真岡市並木 町2丁目1番地10	15,800	-	15,800	0.13
計	-	15,800	-	15,800	0.13

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,366,154	2,070,402
受取手形及び売掛金	3,288,373	3,263,068
有価証券	1,399	1,399
商品及び製品	1,132,433	1,120,942
仕掛品	293,577	293,367
原材料及び貯蔵品	577,022	505,720
繰延税金資産	177,292	162,066
その他	202,578	225,192
貸倒引当金	9,623	12,612
流動資産合計	8,029,209	7,629,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,843,371	1,843,659
機械装置及び運搬具(純額)	1,763,862	1,671,961
その他(純額)	567,673	1,249,595
有形固定資産合計	4,174,907	4,765,216
無形固定資産	54,348	50,118
投資その他の資産		
投資有価証券	737,842	814,868
繰延税金資産	547,473	522,821
その他	337,959	325,605
貸倒引当金	26,817	25,295
投資その他の資産合計	1,596,458	1,637,999
固定資産合計	5,825,714	6,453,335
資産合計	13,854,923	14,082,881

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,763,476	1,675,305
短期借入金	2,452,376	2,306,600
未払法人税等	180,980	47,402
賞与引当金	279,620	298,647
役員賞与引当金	2,000	1,500
災害損失引当金	61,921	26,818
資産除去債務	1,278	2,227
その他	608,475	841,843
流動負債合計	5,350,128	5,200,343
固定負債		
長期借入金	219,190	567,750
退職給付引当金	1,383,160	1,394,805
資産除去債務	41,347	40,808
その他	157,215	161,558
固定負債合計	1,800,912	2,164,923
負債合計	7,151,041	7,365,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	3,925,270	3,889,418
自己株式	4,952	4,952
株主資本合計	6,623,927	6,588,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,751	210,781
為替換算調整勘定	83,797	81,243
その他の包括利益累計額合計	79,954	129,538
純資産合計	6,703,882	6,717,615
負債純資産合計	13,854,923	14,082,881

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	7,884,095	7,165,395
売上原価	6,339,328	5,725,008
売上総利益	1,544,767	1,440,386
販売費及び一般管理費	1,230,814	1,228,433
営業利益	313,952	211,952
営業外収益		
受取利息	1,087	1,144
受取配当金	9,037	8,316
受取補償金	6,344	-
その他	9,262	9,660
営業外収益合計	25,731	19,120
営業外費用		
支払利息	18,510	14,035
持分法による投資損失	12,147	3,504
為替差損	12,828	2,972
その他	3,740	5,254
営業外費用合計	47,226	25,767
経常利益	292,456	205,306
特別利益		
貸倒引当金戻入額	954	-
特別利益合計	954	-
特別損失		
固定資産除却損	16,086	89,849
災害による損失	-	6,143
投資有価証券評価損	8,814	5,999
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	42,438	-
特別損失合計	67,339	101,992
税金等調整前四半期純利益	226,071	103,313
法人税、住民税及び事業税	140,866	41,679
法人税等調整額	28,258	6,411
法人税等合計	112,607	48,091
少数株主損益調整前四半期純利益	113,463	55,222
四半期純利益	113,463	55,222

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,463	55,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,379	47,030
為替換算調整勘定	529	290
持分法適用会社に対する持分相当額	6,952	2,263
その他の包括利益合計	101,860	49,584
四半期包括利益	11,603	104,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,603	104,806
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	226,071	103,313
減価償却費	382,575	359,244
貸倒引当金の増減額(は減少)	954	1,467
賞与引当金の増減額(は減少)	54,862	19,026
役員賞与引当金の増減額(は減少)	1,000	500
災害損失引当金の増減額(は減少)	-	35,103
退職給付引当金の増減額(は減少)	49,655	11,645
受取利息及び受取配当金	10,124	9,460
支払利息	18,510	14,035
為替差損益(は益)	156	160
持分法による投資損益(は益)	12,147	3,504
投資有価証券評価損益(は益)	8,814	5,999
固定資産除却損	16,086	89,849
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	42,438	-
売上債権の増減額(は増加)	334,666	154,417
たな卸資産の増減額(は増加)	108,746	79,263
その他の流動資産の増減額(は増加)	5,934	54,182
仕入債務の増減額(は減少)	8,827	90,548
その他の流動負債の増減額(は減少)	37,680	9,120
その他	43,690	12,358
小計	477,187	654,240
利息及び配当金の受取額	9,897	8,750
利息の支払額	13,961	12,749
法人税等の支払額	74,933	174,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	398,189	476,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	43,729	727,669
有形固定資産の除却による支出	3,795	67,540
投資有価証券の取得による支出	7,201	2,568
貸付けによる支出	10,825	89,680
貸付金の回収による収入	7,717	14,944
その他の支出	723	1,023
その他の収入	2,312	2,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,244	870,897

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	306,000	94,000
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	258,486	291,216
リース債務の返済による支出	8,578	12,671
配当金の支払額	90,936	91,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	464,000	99,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	412	78
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	122,467	295,752
現金及び現金同等物の期首残高	2,114,182	2,336,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,991,714	2,040,402

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給料手当及び賞与 252,974千円 賞与引当金繰入額 96,123 役員賞与引当金繰入額 1,000 退職給付費用 31,642 運賃 179,069 研究開発費 161,150	給料手当及び賞与 249,586千円 賞与引当金繰入額 98,543 役員賞与引当金繰入額 1,500 退職給付費用 21,943 貸倒引当金繰入額 1,467 運賃 178,179 研究開発費 148,482

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)
現金及び預金勘定 2,021,714千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 30,000 現金及び現金同等物 1,991,714	現金及び預金勘定 2,070,402千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 30,000 現金及び現金同等物 2,040,402

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	91,073	8.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	91,073	8.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社グループは、食品製造販売事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円97銭	4円85銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	113,463	55,222
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	113,463	55,222
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,384	11,384

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

仙波糖化工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松田 道春 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松本 保範 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている仙波糖化工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、仙波糖化工業株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。